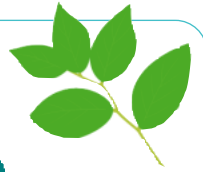




Since 1983

SSKO

おあしす通信



2026年度
第1号

編集 キープハート（おあしすの事業を支える市民の会）



おあしす福祉会の
サポーター募集中!!

詳しくは
p8に!



【特集】ピアワーク・オアシス

詳しくは
p2~p3



社会福祉法人
おあしす福祉会

〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6
TEL: 03-5690-5959

<https://www.oasisfukushi.or.jp/>



就労継続支援B型／就労定着支援事業所

■オアシス・プラス 〒135-0021 東京都江東区白河4-7-2 TEL 03-5646-7811

就労継続支援B型事業所

■コム・オアシス 〒136-0076 東京都江東区南砂3-4-6 TEL 03-5690-5959

■ピアワーク・オアシス 〒135-0001 東京都江東区毛利1-7-3 TEL 03-5638-1775

地域活動支援センター／指定（特定・一般）相談支援事業所／自立生活援助

■ウィル・オアシス 〒135-0002 東京都江東区住吉1-17-20住吉ビル4階 TEL 03-6284-0545

共同生活援助事業（グループホーム）

■第2クローバーハウス

おあしす利用者家族の会「杏の会」

公益事業

■住宅確保要配慮者居住支援法人（居住支援法人）

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-20東陽町ダイヤモンドパレス2階204 TEL 070-6435-5374

ゆっくりで大丈夫。でも、丁寧に…

～ピアワーク・オアシスが大事にしていること～

江東区毛利にあるピアワーク・オアシスは就労継続支援B型の事業所です。主な事業は木のおもちゃの製造と販売をおこなう木工事業と、日常的な施設内外の掃除をおこなう清掃事業です。他には地域の団体や企業からの依頼による軽作業も仕事としています。また、東日本大震災以来おこなっている「子どもたちに木のおもちゃを贈る活動」をはじめとした社会参加・地域貢献の活動も積極的におこなっているのが大きな特長です。（「子どもたちに木のおもちゃを贈る活動」については本紙5ページをご参照ください）

木工事業 製作



一つひとつ丁寧に仕上げていきます。



ピアワーク・オアシス1階には「木のおもちゃのお店 おあしす」のショップがあります。これらのおもちゃはショップの奥にある工房で作られています。

工房の中から聞こえるのはラジオから流れるパーソナリティの声、部品にやすりをかける音、そして利用者たちののんびりした話し声と時々聞こえる笑い声。作業に締め切りはありません。みんな、それぞれのペースで心を込めておもちゃ作りをおこなっています。

主な作業はやすりがけ、組み立て、つや出しのワックスがけ。おもちゃで遊ぶ子どもたちの姿を思い浮かべながら、切り出した材料の表面がなめらかで、安全

で楽しく遊べ、やさしい手ざわりになるまでやすりをかけていきます。

「やすりがけ、これでいいかな?」「大丈夫だよ。きれいにできてる」

「今、ラジオで言っている難民の人たちって、どうやって生活しているの?」

「それはね・・・」

会話を楽しみながら、時にラジオから聞こえてくる話題に耳を傾けながら、穏やかな時間が流れ、手づくりのぬくもりのある木のおもちゃたちが少しずつ仕上げられていきます。

商品管理

製作部門で出来上がったおもちゃは、商品管理のフロアに運ばれます。ここでは価格の決定や値札付けをおこないます。

「これ、2,000円でいいかな?」

「どうしよう、安い方が買ってもらえるし、こんなによくできているなら高くてもいいような気がするし・・・」

そんな会話をしながら、値付けをした何百種にも及ぶおもちゃを分類し、写真を撮影し、棚にしまっていきます。

また、大きな販売イベントが近づくと販売スペース



レーザーによる製品加工



販売のための写真撮影

と来店客層に合わせて、販売する商品を選んでいきます。販売に必要な棚や掲示物、ショッピングバッグなど備品の準備も商品管理担当の役目です。

最近では製品に文字やイラストを入れられるレーザー刻印機、材料の切り出しも可能なレーザー加工機も導入し、新製品の開発に取り組むようになりました。

販売

ピアワーク・オアシス内にあるショップでの販売の他、地域での販売イベントは作ったおもちゃを買ってくれるお客様とふれ合う大事な機会です。イベントごとに販売員を募集し、スタッフと一緒に現場に向かいます。「お客様とうまく話せるかな」「おつりを間違えずに渡せるかな」

人と話すことが苦手な方にとっては、作業室を出ての販売の仕事は勇気があるものかもしれません。でも、最初はただ売り場に立つだけでもいいんです。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」が言えるよ



う、先輩利用者やスタッフが応援します。仲間と助け合いながら、自分たちが関わった木のおもちゃを嬉しそうに買っていく子どもたちの姿を見て「またがんばろう！」と思うことが何よりも大事だと思うのです。



清掃事業

「細かい作業はちょっと苦手」「達成感があるから体を動かす仕事の方がいい」

清掃事業にはそんな利用者たちが集まっています。難しい作業はありません。拭き掃除や掃き掃除、掃除機がけなど、当事業部がやるのは「自分で、できないことはないけど、少しだけ大変だから誰かにお願いしたい」、そんな掃除です。

最初は施設内で練習、やり方を覚えたら地域の企業や団体からの依頼を受けている現場での作業に挑戦し



ます。仲間と相談し、スタッフのアドバイスを聞きながら、急がずあせらず、ていねいに仕事を進めていくことを大事にしています。

仕事だけでなく、相談も

「自分はどんな仕事に向いているんだろう?」「就職活動って、何からすればいいのかな?」

仕事や就職についての悩みはもちろん、家族や友人など対人関係についての悩み、金銭管理や健康管理、行政

の手続きについてなど、利用者の皆さんからは様々な相談があります。スタッフはそれぞれの相談に誠実に応じ、それぞれの目標実現に向けて、安心して取り組めるよう、解決策を一緒に考えていきます。

管理者より

ピアワーク・オアシスでは、「ゆっくりで大丈夫、でも丁寧に」を合言葉に、木工や清掃、販売など、一人ひとりの得意なことやペースに合わせた仕事を行っています。日々の不安や将来の悩みも一緒に考えていきます。いつでもお気軽に見学や相談にお越しください。

（ピアワーク・オアシス管理者 丸橋克也）

ピアワーク・オアシス

利用時間／月～金

9:30～17:30

工賃／時給450円～

ともに暮らしていくために何をすべきか

つくろい東京ファンド 大澤優真さんの来所と難民・移民フェス開催



ピアワーク・オアシスでは、戦争や国内紛争などから逃れ、海外から日本へ避難してきた人たちが生活に困窮していることを知り、「なんとか困っている人たちの力になれないか」と考えた。そこで、生活困窮者の支援団体 つくろい東京ファンドに木のおもちゃを提供し、その売上を難民申請者や仮放免者^(注)の支援に役立ててもらっている。

大澤優真さんがピアワーク・オアシスに来所

5月26日、つくろい東京ファンド 大澤優真さんがピアワーク・オアシスに来所。日本にいる難民申請者や仮放免者の方々の現状について、お話しいただいた。

大澤さんの話は難民・仮放免者とはどんな人を指すのか？から始まり、世界で難民が急増する中、日本の難民認定数が際立って少ないこと（2024年の難民申請数は1万2千人、これに対し難民・認定数は190人）などが語られた。

参加した利用者、職員からはたくさんの質問が寄せ

られ、様々な事情で祖国を脱出し日本にたどり着いた人々の多くが、生活を保障する制度がほとんど機能しないため、路上生活を送っていることなどを知った。私たちは、同じ社会で暮らす人々がひどく苦しんでいるという事実を見過ごすことはできないと、あらためて強く感じた一日だった。



7回目の難民・移民フェス開催

6月6日(土)、東京都港区にある聖アンデレ教会で第7回 難民・移民フェスが開催された。このイベントにはつくろい東京ファンドや、以前からピアワーク・オアシスがお世話になっている俳優・映画監督のサヘル・ローズさんをはじめとした、日本に住む外国人を支援する団体が多く参加している。

会場には様々な国の食べ物や小物が並び、ステージ

ではなく、違いを知ろうとする方々が集まっていた。音楽と食、そして対話を通じて世界とつながる。難民・移民フェスにはそんな大切な力があるように感じています。」(note Sahel Diary より引用 <https://note.com/sahelfarm/n/na2810d9fb25c>)



2025年の参議院選挙で争点の一つとなって以降、いわゆる「外国人問題」が多く取り上げられるようになった。難民・移民フェスが大きな盛り上がりを見せた一方で、私たちは「外国人」に嫌悪感を持つ人がいることも知っている。日本政府は「外国人との共生社会の実現」をうたうが、「この1年間で難民のために行動を起こした人」について調査したところ、世界平均の29%に対して、日本は8%と大差でのワースト1位だったそう。私たちはこれからも、この社会でともに暮らす人に目を向け、どうすれば本当の意味での「共生」が実現するのか、考えていきたい。

つくろい東京ファンドの皆さん、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

(武藤康司)

(注) 日本での滞在は認められていないが、やむをえない事情により一時的に収容を解除されている外国人

自分のつくったおもちゃで、 子どもたちに思いっきり遊んでほしい

公益財団法人がんの子どもを守る会へ木のおもちゃと寄付金を届けました

「自分たちのつくったおもちゃで子どもたちに笑顔になってもらいたい」一。東日本大震災で被災した子どもたちのために利用者が声をあげたことがきっかけで始まった『子どもたちに木のおもちゃを贈る活動』は、現在がんや難病と闘う子どもたちや、そのごきょうだいの支援へと広がりを見せています。

6月、公益財団法人がんの子どもを守る会（以下がんの子どもを守る会）へ利用者2名と訪問。木のおもちゃと『こどもたち応援ロボット』（下で紹介）で集まった寄付金87,500円（2025年度分）を届けました。この日に間に合うように完成させたおもちゃを手渡すと、スタッフさんは「子どもたちを想ってつくってくれたことがとても嬉しい」と受けとってくださいました。

同じ建物内にあるアフラックペアレンツハウス（自宅から離れた病院で治療を受ける子どもとそのご家族が利用できる宿泊施設）のプレイルームへ案内していただき、床に転がるおもちゃの中に以前プレゼントした車のおもちゃを発見。「ついさっきまで遊んでいたのかな」と、緊張に包まれていた利用者の顔がほころびました。ペアレンツハウスを利用するお子さんは0～2歳が多いそうで、わたしたちのつくるおもちゃはちょうどぴったり。この日にプレゼントしたところのおもちゃを、さっそくプレイルームの仲間に入れてもらいました。

「飲みたくないお薬を飲んだり、痛い注射を我慢したり、副作用で体調がすぐれなかったり、大人でも辛くなることと向き合っているって本当にすごいことだと思

う」「自分も子育てをしてきた。そばで支えるお父さんお母さんの気持ちを考えると胸が痛む」「痛いのを



忘れちゃうくらい、思いっきりおもちゃで遊んでくれたらいいな」「ごきょうだいも一緒に楽しい時間を過ごしてほしいね」「そんな様子をそばで見守るご家族のところが、すこしでも安らいでもらえたらうれしい」一。訪問後、利用者となんな言葉を交わしています。

手がけたおもちゃが子どもたちやご家族の支えになるということは、作り手である利用者にとっても大きな励みになります。ある利用者は「自分のつくったおもちゃが誰かの力になっていると思うと、とてもうれしい」「木工事業部に入ってよかった」と言葉にしてくれました。利用者にはこれからも誇りをもっておもちゃ



をつくってほしいと思いますし、おもちゃを手にした子どもたちが笑顔になり、病から快復することを心から願っています。

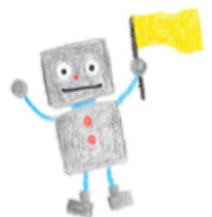
（瀧下春菜）

こどもたち応援ロボット

「できることなら、いろんなかたちで子どもたちを応援したい」という利用者の声から『こどもたち応援ロボット』が誕生しました。

こちらのロボットチャームをご購入いただくと、500円は公益財団法人がんの子どもを守る会へ寄付されます。

店頭価格 1,000円（税込）
ネット販売価格 1,500円（税込）



やっぱり「みんなで」が楽しい！

7年ぶりのおあしす全体行事 バスツアーで千葉に行ってきました

2026年1月、日帰り旅行を実施しました。法人全体行事を開催するのは、7年ぶりとなります。今回はできるだけ多くの方に参加していただき、普段できない体験を共有し、事業所を越えた交流を深めてほしいという思いから、赤い羽根共同募金の助成金を活用させていただきました。



おあしす全体で72名が参加したこの旅行。最終的なプランの選定は利用者投票を実施。投票数がいちばん多かったプラン（木更津アウトレットパークでの買い物、お寿司の食べ放題、いちご狩り）に決まり、たくさんの利用者の期待を乗せて、出発を迎えることとなりました。はとバスの中では自己紹介をきっかけに会話が広がり、久しぶりに再会した仲間と嬉しそうに話す姿も見られました。海ほたるでは「タイタニックみたい」とポーズを決める人がいて周囲から笑いがこぼれました。

いちご狩りでは、6種類の苺を食べくらべ、好みの苺を見つけたり、お寿司の食べ放題ではウニや金目鯛



コロナ禍を明けて念願の日帰り旅行、分厚く大きなネタのお寿司



に目を輝かせる参加者も多く、非日常の体験を心から楽しんでいる様子が伝わってきました。今回の日帰り旅行は、単に余暇をたのしむだけでなく、日常生活で

はできない体験を「みんなで」共有することで、安心感があるなかで、より満足感や充足感が得られる旅行となったのではないかと思います。

旅行後も事業所を越えて共通の話題が弾むなど交流の輪が広がっています。旅行後のアンケートでも約7割が「来年も参加したい」と回答しており、次の旅行への期待がふくらんでいます。一方、トイレの心配やもう少しゆっくり回りたかったという声もあり、参加者の体力やペースに配慮した行程の工夫が必要だと感じました。



日頃、事業所を越えて集まる機会が少ないこともあり、全体で参加・交流できる行事は今後も積極的に企画したいところです。今回は、プランの選定だけでなく、旅行の企画や準備段階から利用者が主体的に関わる場面も設け、「みんなが行きたい旅行」を利用者とともに実現できたいと思います。障害があっても、新たな経験をする機会、仲間と分かち合う機会を増やし、生活の質の向上を求めていけるよう、取り組んでいきます。お力添え、よろしくお願いします。詳しくはp8をご覧ください。

（高橋邦浩・小笠原 優）



令和7年度事業報告・令和8年度事業計画

日頃より当法人を支えてくださる皆様に、昨年度の歩みと今年度の決意をご報告申し上げます。

【令和7年度のご報告】 地域での活躍と笑顔が広がった一年

厳しい社会情勢の中、「施設から地域へ」という理念のもと、利用者の皆様が輝く場面を数多く創出してきました。

■地域・企業との絆： 企業への定期的なお弁当販売のほか、新たに区内企業からDM 発送を受託するなど、地域の中で活躍の場が拡大しました。

■交流機会の拡大： コロナ禍ですっとできなかった念願の日帰り旅行を実施したほか、法人内でスポーツ交

流会を実施して、参加者からは笑顔があふれていました。

■経営状況： 制度上の報酬単価変動により前年と比べ、約1,412万円の減収となりましたが、利用実績は全事業所で前年並みを維持しており、多くの方に選ばれ続けていることが私たちの誇りです。また、全体収支としては、黒字で終わることが出来ました。

【令和8年度の計画】 「仕組みで支え、ゆとりをつくり、地域で混ざる」 —共に創る、おあしすの未来

■生産性向上と職場環境改善： ICT 活用や業務効率化で「心のゆとり」を生み、利用者支援の質の向上とサービスの充実、地域との交流・協働事業の促進へとつながります。

■やりがいと交流： 宿泊旅行や利用者・家族全体集会、OB・OG 会の再開を本格検討します。

■新しい挑戦： ネット販売の開始や、夜間の孤立を防ぐ「イブニングケア（夜間開所）」の試行など、生活の幅を広げる新しい仕組みを作ります。

■組織の継承： 組織体制の見直しや職員研修を通して、43年培った支援技術と想いを次世代へつなぎます。

【みなさまへのお願い】 おあしすの未来を共に創ってください

当法人では各施設の老朽化が進み、移転や大規模修繕の必要に迫られるなど、大きな転換期を迎えています。今後に渡って、私たちが活動が続けていくため、特に以下について皆様のお力をお貸しください。

- 運営資金： 寄付金窓口（Syncable）を通じた継続的なご支援
- 人・知恵： ボランティア・実習生の受け入れや専門人材・知識の共有
- 不動産： 拠点維持・移転に向けた物件情報のご提供

江東区の地域福祉を支える一員として歩み続けるおあしす福祉会に、お力添えをお願い申し上げます。

社会福祉法人 おあしす福祉会 理事長 平松 謙一





おあしすのサポーター募集中

おたがいが あんしんして しあわせを手にする すぐ できる町に

おあしす福祉会ではみなさまからの寄付、特に月々500円から継続的にご支援いただける「マンスリーサポーター」を募集しています。

私たちは一人ひとりがお互いを認め合い、力を合わせて共に生きる社会（共生社会）の実現を目指しています。障がいの有るなしはもちろん、性別、年齢、国籍に関わらず、地域の誰もが生き活きと暮らしていける

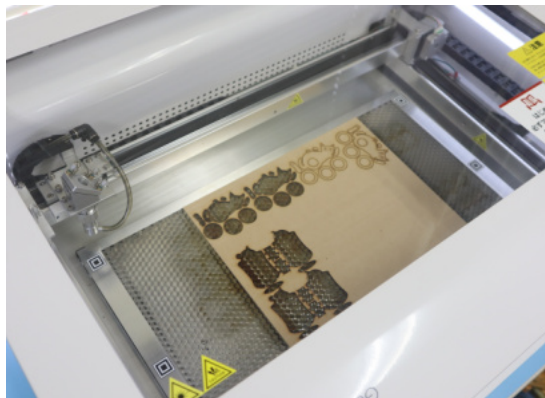
ような様々な活動をおこなってきました。

しかし、近年の物価高騰や経済の停滞の中、どうしても資金が足りません。活動を継続し、発展させるには皆さまのご理解とご協力が必要です。この機会にぜひおあしす福祉会への寄付をご検討いただき、活動を応援していただければ幸いです。

こんなことで
困っています！

毎日のお弁当配達で
使用している軽自動車
が長年にわたる使用で
故障が増え、買い替え
なければなりません。

●新しい車がほしい！



●木のおもちゃ作りの ために高性能のレーザー 加工機がほしい！

木のおもちゃ作りをしている木工事業部では、将来の事業展開に向けてレーザー加工機を使った製品づくりに挑戦しています。しかし、現在使用している機械ではできる作業に限界があり、質の高い製品を開発するためにはより高額な機械を購入しなければなりません。

●利用者の一泊旅行を実現したい！



「できればみんなで温泉を楽しみたい」利用者の多くからそんな希望が出ています。生活費を切り詰め、外出も控えなければならない方も多く、実現には資金が足りません。

おあしす福祉会への
寄付についてはこちら➡



銀行振込でのご寄付の場合

銀行名：ゆうちょ銀行 金融コード：9900

店番：019 預金口座：当座

店名：〇一九店（ゼロイチキュウ店）

口座番号：0082367

＊通信欄に「寄付」と明記のうえ、お申しこみください